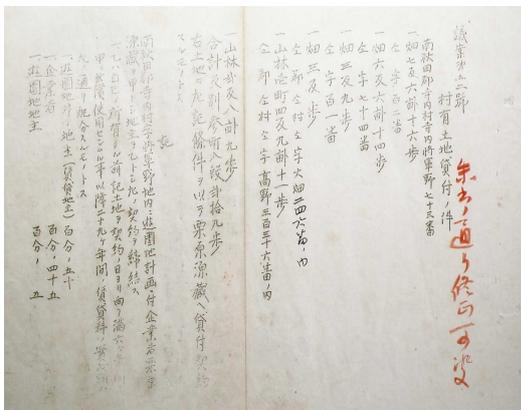


## 笑顔あふれる東北一の遊園地

将軍野遊園地は、秋田電車株式会社の栗原源蔵氏により巨額の私財が投じられて建設されました。

遊園地といえば、遊具やアトラクションといった設備を思い浮かべますが、この時、高清水の丘に建設された遊園地は、子供遊戯場や水遊場だけでなく、大規模な総合運動場や演芸場も備えスポーツとレジャーが融合した魅力的な施設だったようです。

面積も35,888坪、約118,611㎡で、八橋球場約10個分という広大なもので、東北一と称されたゆえんかもしれません。



「大正15年 村会会議録」より

※寺内村は昭和8年8月1日に町制を施行

左の文書は、大正15年10月2日に寺内村会へ提出された「村有土地貸付ノ件」の議案です。

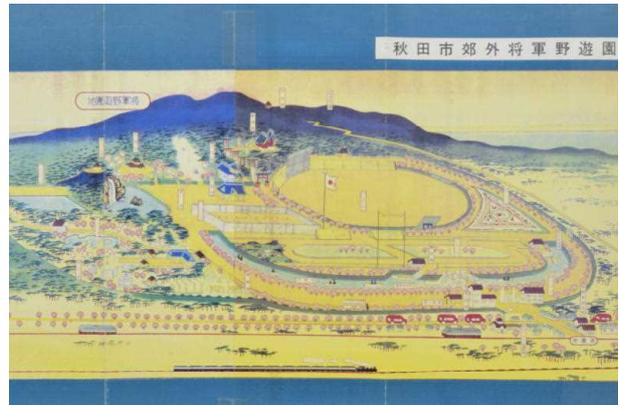
将軍野遊園地に対して貸付けする土地および面積、貸付期間、賃貸料などが提案され審議しています。「朱書ノ通り修正可決」の朱文字が見えます。

右の写真は、当時作成された将軍野遊園地の「鳥瞰図」です。

ここに見える全てが、「将軍野遊園地」です。下方に描かれた赤い線が路面電車の路線で、「遊園地前」という停留所も見えます。

主な施設は、野球場、庭球場、トラック、大弓場、角力場、プール、水遊場、子供遊戯場、演芸場、スキー場などで、水遊場ではボート遊びなどでもできました。入場料は大人が10銭、小人・学生は5銭で、昭和7年度の入場料収入は2,559円となっています。年間数万人もの人が利用していたことになり、一大娯楽施設としての人気ぶりがよくわかります。

人気を博した将軍野遊園地ですが、戦争突入による時局の悪化で昭和20年に遊園地の敷地は帝国石油株式会社に譲渡され、その後閉園となってしまいます。



将軍野遊園地鳥瞰図